

原子力施設等におけるトピックス
(令和2年8月17日～8月23日)

令和2年8月26日
原子力規制庁

○令和2年8月17日～8月23日の間に発生した以下の法令報告事象に該当する事案は、下表のとおり。

- 原子炉等規制法第62条の3又は放射性同位元素等規制法第31条の2に基づく報告事案(発生に係る報告に限る)

発表日	事業者名	事業所名	件名	備考
			該当なし	

○主要な原子力事業者(*)の原子力事業所内で令和2年8月17日～8月23日の間に発生した以下に該当する事案は、下表のとおり。

- 保安規定に定める運転上の制限から逸脱した事案
- 原子炉等規制法第62条の3に基づく報告事項に該当しないが安全確保に関係する事案で、事業者がプレス公表したもの

*……原子力発電所を所有する電気事業者、日本原子力研究開発機構及び日本原燃(株)

発表日	事業者名	事業所名	件名	備考
			該当なし	

<参考> 海外の原子力施設におけるトピックス
該当なし

<その他>

8月18日及び19日発表 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所 3号機タービン建屋屋上における作業員の放射性物質の内部取込について

福島第一原子力発電所の状況について（日報）

2020年8月18日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所の状況について、以下のとおりお知らせいたします。

（下線部が新規事項）

【主な作業実績と至近の作業予定等】

- ・8月18日、3号機タービン建屋屋上で作業していた協力企業作業員について、放射性物質の内部取込みの可能性があると判断。

状況は以下のとおり。

- ・判断時刻 午後2時9分
- ・発生場所 3号機タービン建屋屋上
- ・作業内容 確認中
- ・汚染状況 鼻腔スミヤで汚染検出：約250cpm
(バックグラウンド：約100cpm)
- ・汚染箇所 顔面

- ・7月8日午前10時36分、SPT建屋東側 建屋内RO循環設備A系トラフ内において、漏えい検知器が作動したことを示す警報が発生。

- ・警報名称 RO循環設備A系トラフ内液位(11)高

なお、建屋内RO循環設備については現在停止中。

現場溜まり水の分析を行った結果、建屋内RO循環設備系統水の放射能濃度および塩分濃度と比較し、十分に低かったことから、雨水と考えている。

なお、全ベータ放射能が58Bq/L検出されていることから、現場の状況を注視していく。

8月17日、現場のトラフ内を点検した結果、配管からの漏えいがないことを確認し、雨水と判断。

【継続実施中の主な作業】

<1~3号機使用済燃料プールからの燃料取り出し>

- ・2019年4月15日から3号機使用済燃料プール内に保管している燃料取り出し作業を2020年度中の完了に向けて実施中。8月9日午後2時2分、42回目となる使用済燃料7体の共用プールへの移送を完了。

- ・2号機の燃料取り出しに向け、2019年9月10日から原子炉建屋オペレーティングフロア内の3回目となる残置物の片付作業を実施中。

【サブドレン他水処理施設の状況】

一時貯水タンク	分析結果	排水開始	排水終了	排水量
C	運用目標値を満足 (採取日8月13日)	8月18日 午前9時51分	8月18日 午後1時45分	580m ³
D	運用目標値を満足 (採取日8月14日)	8月19日予定	-	-

【構内および海洋のサンプリング調査の状況】

・海水（港湾内、港湾外近傍、1~4号機取水口内）、地下水（1~4号機護岸、H4・H6タンクエリア周辺、地下貯水槽周辺、地下水バイパス）、排水路等の水質調査を実施した結果、至近の分析値と比較して有意な変動なし。

※サンプリング結果の詳細については当社ホームページをご参照ください。

<福島第一原子力発電所周辺の放射性物質の分析結果>

<https://www.tepco.co.jp/decommission/data/analysis/>

<福島第一原子力発電所における日々の放射性物質の分析結果>

https://www.tepco.co.jp/decommission/data/daily_analysis/

【原子炉および使用済燃料プールの冷却状況】

<原子炉>

- ・1~3号機原子炉への注水を継続中（各号機ともに冷温停止状態を継続中）。

- ・2号機原子炉注水設備については、前回試験より長期間の原子炉注水停止時の温度上昇を確認することを目的に、原子炉注水を8月17日から約3日間停止する試験を実施。この試験に関連し、以下のとおり2号機の原子炉注水量を変更。

[2号機原子炉注水量変更実績]

(8月12日午前11時25分)

給水系原子炉注水量 : 1.5 m³/h → 0 m³/h

炉心スプレー系原子炉注水量 : 1.5 m³/h → 3.0 m³/h

(8月17日午前10時9分)

炉心スプレー系原子炉注水量 : 3.0 m³/h → 0 m³/h

[2号機原子炉注水量変更予定]

(8月20日) 炉心スプレー系原子炉注水量 : 0 m³/h → 3.0 m³/h

(8月28日) 給水系原子炉注水量 : 0 m³/h → 1.5 m³/h

炉心スプレー系原子炉注水量 : 3.0 m³/h → 1.5 m³/h

なお、以下の操作は、特定原子力施設に係る実施計画「III 特定原子力施設の保安」第1編第32条（保全作業を実施する場合）第1項を適用し、必要な安全措置を定めた上で、計画的に運転上の制限外に移行し操作を実施。

・8月17日に実施する原子炉注水停止操作は、特定原子力施設に係る実施計画に定める運転上の制限「原子炉の冷却に必要な注水量が確保されていること」に関し、午前10時2分、計画的に運転上の制限外に移行

（東京電力ホールディングス株式会社HP掲載）

福島第一原子力発電所の状況について（日報）

2020年8月19日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所の状況について、以下のとおりお知らせいたします。

（下線部が新規事項）

【主な作業実績と至近の作業予定等】

・8月18日、3号機タービン建屋屋上で作業していた協力企業作業員について、放射性物質の内部取込みの可能性があると判断。

状況は以下のとおり。

- ・判断時刻 午後2時9分
- ・発生場所 3号機タービン建屋屋上
- ・作業内容 屋上防水工事の下地塗布作業および残砂の清掃作業
- ・汚染状況 鼻腔スミヤで汚染検出：約250cpm
(バックグラウンド：約100cpm)
- ・汚染箇所 顔面

当該作業員の汚染した顔面（鼻、口廻り）については除染が完了し、ホールボディカウンタ測定を実施した結果、内部被ばく線量は記録レベル（2 mSv）未満であった。

入退域管理棟救急医療室の医師による問診の結果、異常なしと診断された。

【継続実施中の主な作業】

<1～3号機使用済燃料プールからの燃料取り出し>

・2019年4月15日から3号機使用済燃料プール内に保管している燃料取り出し作業を2020年度中の完了に向けて実施中。8月9日午後2時2分、42回目となる使用済燃料7体の共用プールへの移送を完了。

・2号機の燃料取り出しに向け、2019年9月10日から原子炉建屋オペレーティングフロア内の3回目となる残置物の片付作業を実施中。

【サブドレン他水処理施設の状況】

一時貯水タンク	分析結果	排水開始	排水終了	排水量
D	運用目標値を満足 (採取日 8月14日)	8月19日 午前10時12分	8月19日 午後2時1分	566m ³
E	運用目標値を満足 (採取日 8月15日)	8月20日予定	-	-

【地下水バイパスの状況】

一時貯留タンク	分析結果	排水開始	排水終了	排水量
グループ2	運用目標値を満足 (採取日 8月12日)	8月20日予定	-	-

【構内および海洋のサンプリング調査の状況】

・海水（港湾内、港湾外近傍、1～4号機取水口内）、地下水（1～4号機護岸、H4・H6タンクエリア周辺、地下貯水槽周辺、地下水バイパス）、排水路等の水質調査を実施した結果、至近の分析値と比較して有意な変動なし。

※サンプリング結果の詳細については当社ホームページをご参照ください。

<福島第一原子力発電所周辺の放射性物質の分析結果>

<https://www.tepco.co.jp/decommission/data/analysis/>

<福島第一原子力発電所における日々の放射性物質の分析結果>

https://www.tepco.co.jp/decommission/data/daily_analysis/

【原子炉および使用済燃料プールの冷却状況】

<原子炉>

・1～3号機原子炉への注水を継続中（各号機ともに冷温停止状態を継続中）。

・2号機原子炉注水設備については、前回試験より長期間の原子炉注水停止時の温度上昇を確認することを目的に、原子炉注水を8月17日から約3日間停止する試験を実施。この試験に関連し、以下のとおり2号機の原子炉注水量を変更。

【2号機原子炉注水量変更実績】

(8月12日午前11時25分)

給水系原子炉注水量 : 1.5 m³/h → 0 m³/h

炉心スプレー系原子炉注水量 : 1.5 m³/h → 3.0 m³/h

(8月17日午前10時9分)

炉心スプレー系原子炉注水量 : 3.0 m³/h → 0 m³/h

【2号機原子炉注水量変更予定】

(8月20日) 炉心スプレー系原子炉注水量 : 0 m³/h → 3.0 m³/h

(8月28日) 給水系原子炉注水量 : 0 m³/h → 1.5 m³/h

炉心スプレー系原子炉注水量 : 3.0 m³/h → 1.5 m³/h

なお、以下の操作は、特定原子力施設に係る実施計画「III 特定原子力施設の保安」第1編第3章2条（保全作業を実施する場合）第1項を適用し、必要な安